

に の まる あと じょうない とうざい なん
二之丸跡は城内の中央に位置し、東西約 360m × 南
ぼく き ぼ じょうだい や しき
北 150 ~ 200m の規模です。二之丸には城代屋敷の
おやく や けい こ ば ねんぐまい みなみ おくら こうてき
御役屋、稽古場や年貢米を保管する南御蔵など公的な
し せつ
施設が集まっています。

これまでに内堀の位置確認のレーダー探査や南御蔵
の内容確認調査など計 5 回の調査が行われています。
南御蔵の調査では、本丸跡でも確認されたものと同様
の建物の土台跡が発見されています。また焼けた土壁
の破片や炭化米も見つかりました。

盛岡藩の家老が記した日誌『雑書』によると、享保
6 年 (1721) の 3 月末に城下町で火災が発生し、町屋
や武家屋敷、蔵などが消失して非常に大きな被害が発
生したと記されています。検出された遺構や焼けた厚
手の土壁、炭化米などからみて、昔の絵図にある南御
蔵がこの位置に存在し、また火災の被害が及んでいる
ことが確認されま
した。

この発掘調査に
ぶん けんしりょう き
より文献史料に記
さい いうら
載された内容が裏
づけ
付けられ、大変貴
せいか
重な調査成果とな
りました。



南御蔵跡出土 焼けた土壁と炭化米 (平成 29 年度調査)